

湯の児・湯の鶴温泉
国民保養温泉地計画書

令和4年10月

環 境 省

目次

1. 温泉地の概要	1
2. 計画の基本方針	2
3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	3
(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要	3
(2) 取組の現状	5
(3) 今後の取組方策	5
4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	6
(1) 医師又は人材の配置状況	6
(2) 配置計画又は育成方針等	6
5. 温泉資源の保護に関する取組方針	6
(1) 温泉資源の状況	6
(2) 取組の現状	8
(3) 今後の取組方策	8
6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	8
(1) 温泉利用にあたっての関係設備等の状況	8
(2) 取組の現状	8
(3) 今後の取組方策	9
7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	10
(1) 概要	10
(2) 温泉の公共的利用の状況	10
(3) 取組の現状	12
(4) 今後の取組方針	13
8. 高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画	13
(1) 公共の用に供する施設の状況	13
(2) 取組の現状	14
(3) 今後の取組の方策	14
9. 災害防止対策に係る計画及び措置	15
(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況	15
(2) 計画及び措置の現状	16
(3) 今後の取組方策	18

- 添付 1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要

水俣市は、昭和24年（1949年）4月に市政が施行された人口23,557人（令和2年10月1日時点）の地方都市で、地理的には九州のほぼ中央、熊本県の南端部で鹿児島県との県境に位置し、南北に14km、東西に22kmの市域を持ち、面積は161.98km²である。

九州山脈に連なる急峻な山々が水俣市西部の八代海近くまで迫るために平地は少なく、水俣川が形成した扇状地に市街地が立地している。市域の7割を占める山間地はその9割以上が人工林（杉、ヒノキ等）に覆われ、大関山を水源とする水俣川と鬼嶽・矢筈岳を水源とする湯出川が市域を貫き、水源から河口までが一つの市域に収まっている。



このような地形の中、水俣市は、リアス式海岸の景勝に恵まれた「湯の児温泉」と山間に佇む山紫水明の「湯の鶴温泉」の2つの温泉地を有している。また、それぞれに旅館が林立しており、海と山の特色ある温泉地として、水俣市の観光になくてはならない存在となっている。各温泉地の概要は以下のとおり。

「湯の児温泉」

水俣市中心部から北西、八代海の海岸線沿いに、6軒の温泉旅館（ホテルを含む。）と3軒の公衆温泉浴場が立ち並ぶ温泉地。内海で波が穏やかな海水浴場が隣接していることから、夏は家族連れの海水浴客やSUP（スタンドアップパドルボード）・カヌー・ダイビングなどのマリンアクティビティの体験客で賑わっている。また、市が管理する観光浮き橋があり、4月～11月のシーズン中は太刀魚釣り観光漁船の発着所となっている。



図1 湯の児温泉 遠景

温泉地の付近には、約5kmの桜並木「湯の児チェリーライン（湯の児海岸道路）」があり、この桜並木は日本さくら名所100選にも選ばれている。



図2 湯の児チェリーライン

「湯の鶴温泉」

水俣市中心部から9kmほど南東、山間部の湯出川沿いに4軒の温泉旅館と2軒の公衆温泉浴場が立ち並ぶ温泉地。蛍が飛び交う自然豊かな環境で、水俣の奥座敷として古くから湯治文化が根付いている。温泉地を流れる湯出川支流の芦刈川には大小の滝が点在する

「湯出七滝」があり、観光ガイド付きのトレッキングやトレイルランなどを楽しむ観光客も訪れている。

また、温泉地には湯の鶴観光物産館「鶴の屋」があり、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏がデザインした和の情緒あふれる落ち着いた佇まいが人気である。



図 3 湯の鶴温泉 遠景



図 4 湯の鶴観光物産館「鶴の屋」 外観

2. 計画の基本方針

湯の児・湯の鶴温泉国民保養温泉地計画の基本方針は、次のとおりとする。

- ①湯の児・湯の鶴温泉を構成する温泉施設、自然環境、地域資源等を保全するとともに、これらを活用した事業を行う。
- ②湯の児・湯の鶴温泉を構成する温泉施設及びその地域が有する歴史・風土・文化を継承し、活用していく。
- ③湯の児・湯の鶴温泉の整備は、安全性や利便性を確保しつつ、様々な人が利用・交流できるように配慮する。
- ④一般社団法人みなまた観光物産協会をはじめとする観光振興団体等と連携を図り、市外から多くの人を呼び込むための魅力向上に両温泉地が連携し取り組む。

本計画は、湯の児・湯の鶴温泉を構成する温泉施設及びその地域において、国民の保養に適した温泉地づくりに取り組むための指針とする。

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

水俣市は、水俣川と湯出川の二股の川の流れから、「水股（ミズマタ）」「水俣（ミナマタ）」と呼ばれるようになったと言われている。古代には「延喜式」に記される駅家が置かれ肥後から薩摩に抜ける陸路があり、また、東シナ海へ抜ける海路があるなど、交通の要衝であった。古墳時代の遺跡からも、水俣では南北の交流が盛んで、文化の結節点であったことが窺える。

八代海に面した海岸部の北側は複雑に入り組んだりアス式海岸が続き、その入り江の

形状を利用して多くの漁港が整備されている。また、南側は江戸時代には既に干拓が行われており、明治時代まで塩づくりが行われていた。

水俣川の上流 2.5km には水俣城跡があり、室町時代から戦国時代にかけて相良氏が支配していたが、薩摩に接する国境の城であったため、度々領土紛争にさらされている。その後、細川氏の時代になっても、水俣を含む肥後南部の葦北郡は警護の力点とされ、陸路や海上の往来を監視する番所が濃密に配置されていた。

今回、国民保養温泉地計画の対象とした湯の児・湯の鶴温泉は、それぞれに古い歴史と文化を持ち、また、海と山とで趣も泉質も異なる。

湯の児温泉は、内海で波が穏やかな海岸沿いにあり、その名称は遠く熊襲討伐軍を肥後路に進めた景行天皇が船上から海に手を入れ、湯の温度がぬるかったことから、湯の子ども「湯の子（児）」と名付けたと言われている。

大正 14 年（1925 年）に深さ 10 余 m の試掘が成功し、39 度の温泉が噴出したことを皮切りに、昭和 4 年（1929 年）頃には、地元民が湧出した温泉を舟に溜め、舟湯として楽しんでいた。現在も当時の様子を再現した舟湯が海水浴場に隣接されている。



図 5 水俣市中心部 遠景



図 6 中村温泉（湯の児）第 1 泉源掘削

明治の文豪幸田露伴は、明治 23 年（1948 年）に水俣沖を帆掛け船で通過した折、海上の夕暮れの様子を「太陽西の方に沈めば、雲は赤金の色をなして輝き、浪は溶けたる鉄の炎焔をあげて流るゝが如し…歌も及ばじ、画も及ばじ」と讃えたが、その美しい八代海の夕暮れは今なお人々の心を魅了している。

昭和初期頃からは市内に進出した大企業の工員が疲れを癒し、大いに賑わったと言われている。

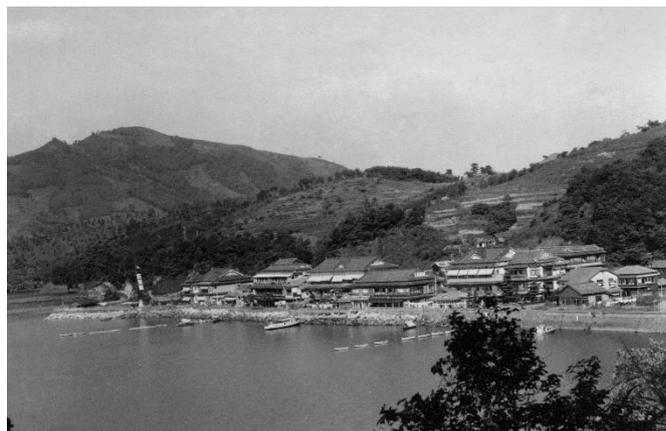


図 7 旧湯の児温泉街 遠景



図 8 湯の児見返り亀

一方、湯の鶴温泉は、湯出川の溪流を挟んで湧出する帯状の温泉郷として、古くは平家の落人が傷を癒したという伝説や、傷ついた鶴が湯浴みをしていたことから地名が「湯の鶴」と名付けられたという言い伝えがある。

また、かつて年季奉公という雇主の家に住み込みで勤める風習があった時代には、『雇主に「湯の鶴温泉に年 1 回は必ず湯治に行かせる」という条件を入れてもらう習わしがあった』と言われるほど、働く人にとって欠かせない良質な温泉地であった。



図 9 明治 31 年 湯出神社（湯の鶴）



図 10 喜久屋旅館旧館

(2) 取組の現状

湯の児温泉では、SUPを始めとしたマリナクティビティ体験や、眺めの良い海岸線の整備、観光釣り船の振興、新種のタツノオトシゴ「ヒメタツ」が見られるダイビングスポットの紹介など、穏やかな内海の特徴を活かした比較的若い世代への誘客に注力しつつ、ビーチクリーンや藻場の保護、豊かな海づくりをテーマにした環境学習などに取り組んでいる。

湯の鶴温泉では、旧来から続く湯治の文化を残しつつ、温泉旅館による質の高いサービスの提供、緑茶や和紅茶の生産・販売、湯出七滝のトレッキングなど、自然豊かで物静かな特色を活かした比較的中高年向けの誘客に注力しつつ、由緒ある温泉神社の修復や市営公衆浴場の改修など、歴史・文化の継承に努めている。



図 11 湯の児に生息するヒメタツ



図 12 湯出七滝トレッキング

(3) 今後の取組方策

湯の児・湯の鶴温泉の維持保全を図るために、これまでの取り組みを継続、発展させるとともに、温泉地域の景観維持や魅力度向上を目指して、除草作業や「おもてなしイルミネーション」の設置など地元関係者と協力した官民連携の取組を行う。

また、魅力ある温泉地を市外にPRできるよう広報活動を継続しつつ、多世代が楽しめるコンテンツの造成やコロナ禍でも心身をリフレッシュできる環境づくりを検討し、構築していく。



図 13 SUP (スタンドアップパドルボード) 体験

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置状況

湯の児・湯の鶴温泉では、医学的立場から健康管理や入浴についての指導、入浴客の体調不良時の対応、一時救急に対応する医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

①医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
国保水俣市立総合医療センター 藤澤 和夫（診療部長）	代謝内科	総合医療センターにおいて、入浴客の体調不良、一時救急、入浴指導等に対応。	R 4年度～

(2) 配置計画又は育成方針等

各温泉地では、上記（1）の医師の配置により適正な温泉利用や健康管理について指導を行う体制づくりを行っている。今後は同医師と温泉旅館等が連携しながら、各旅館において入浴方法等の指導ができる温泉入浴指導員等の人材育成や資格取得に努める。また、健康面を配慮した入浴方法については、各温泉施設にリーフレット等を掲示することで、温泉施設を安全かつ適切に利用することができる環境づくりを行う。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

それぞれの温泉地の現在活用している源泉は、湯の児温泉に 10 か所、湯の鶴温泉に 8 か所ある。詳細については下表のとおり。

表 1 温泉の泉質関係

温泉地	源泉 NO.	源泉	温度 (℃)	湧出量 (ℓ/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
湯の児温泉	①	齊藤旅館	52.5	174	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	齊藤旅館
	②	昇陽館	49.1	-	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	昇陽館
	③	湯の児海と夕やけ第 1 泉源	48.4	157	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	湯の児海と夕やけ

	④	湯の児海と夕やけ第2泉源	48.4	89	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	湯の児海と夕やけ
	⑤	夕日の宿	49.1	-	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	夕日の宿
	⑥	旅館 松原荘	43.3	92.1	ナトリウム-塩化物泉	動力	民間	旅館 松原荘
	⑦	白梅湯裸楽	50.3	-	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩泉	動力	民間	白梅湯裸楽
	⑧	中村温泉	48.5	230	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	中村温泉
	⑨	旧福田農場共同浴場	48.2	186	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	旧福田農場共同浴場
	⑩	温泉いわさき	51.2	100	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉	動力	民間	温泉いわさき
湯の鶴温泉	⑪	あさひ荘 (川上)	56.8	290	アルカリ性単純硫黄泉	動力	民間	あさひ荘
	⑫	あさひ荘 (川下)	41.8	-	アルカリ性単純硫黄泉	動力	民間	あさひ荘
	⑬	鶴水荘	53.3	94.5	アルカリ性単純温泉 (低張性アルカリ性高温泉)	動力	民間	鶴水荘
	⑭	喜久屋旅館	62.8	-	アルカリ性単純硫黄温泉 (低張性アルカリ性高温泉)	動力	民間	喜久屋旅館
	⑮	きくの湯	39.9	38.7	アルカリ性単純温泉	動力	民間	きくの湯
	⑯	水俣市共同源泉	39.3	37	単純温泉	動力	市有	湯の鶴温泉憩いの広場 (足湯)
	⑰	湯の鶴保健温泉センター	49.0	-	単純温泉	動力	市有	湯の鶴保健温泉センター
	⑱	旅宿 Tojiya	51.0	80	アルカリ性単純温泉	動力	民間	旅宿 Tojiya

(2) 取組の現状

温泉資源を適正かつ永続的に利用するため、それぞれの温泉地にて以下の取り組みを行っている。

源泉	取組	実施主体	実施年度
市有源泉	泉質や泉温については、年1回の水質検査等の際に測定。ポンプの点検は毎年1回以上実施。概ね2時間に1回、残留塩素濃度の測定と調整を実施。	水俣市	令和4年4月～
民間源泉	泉質、泉温、湧出量の測定、ポンプの点検について年1回程度の頻度で適切な検査の実施に努める。	源泉所有者	令和4年4月～

(3) 今後の取組方策

湯の児・湯の鶴温泉において、近年は温泉湧出状況に大きな変化はないが、将来的な湧出量の減少や設備の老朽化に備え、(2)の取組を継続するとともに、実施主体と調整の上、温泉資源の保護に努める。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉利用にあたっての関係設備等の状況

湯の児・湯の鶴温泉での温泉利用にあたり、使用している設備及びその利用状況は以下のとおりである。

① 浴用利用のみ

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
湯の児温泉	10	引湯管、貯湯槽	6施設 + 3公衆浴場
湯の鶴温泉	8	引湯管、貯湯槽	5施設 + 2公衆浴場

② 浴用及び飲用利用

該当なし

(2) 取組の現状

湯の児・湯の鶴温泉での温泉利用にあたり、使用している設備に対して現在講じている衛生面での取組の状況は以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	熊本県入浴施設におけるレジオネラ症の発生防止のための衛生管理に関する条例	1年に1回以上の水質検査を、また、必要に応じて成分検査を実施する。	水俣市(指定管理者を含む)、源泉所有者

引湯管	熊本県入浴施設におけるレジオネラ症の発生防止のための衛生管理に関する条例	定期的に（年1回程度）貯湯槽と浴槽を結ぶ配管の生物膜の除去を行うための清掃及び消毒を実施する。	水俣市（指定管理者を含む）、源泉所有者
貯湯槽	熊本県入浴施設におけるレジオネラ症の発生防止のための衛生管理に関する条例	貯湯槽の温度を、通常の使用状態において湯水の補給口、底部等に至るまで摂氏60度以上に保ち、かつ、最大使用時においても摂氏55度以上に保つ。ただし、これにより難しい場合には、貯湯槽内の湯水の消毒又は定期的に（年1回程度）生物膜の除去を行うための清掃及び消毒を実施する。	水俣市（指定管理者を含む）、源泉所有者
浴槽	熊本県旅館業法施行条例等	○浴槽 毎日完全に換水し、清掃する。また、浴槽は原湯又は十分にろ過した湯水により常に満杯状態に保ち、かつ、これらの湯水を供給することによりあふれさせ、浴槽水を清浄に保つ。 ○浴槽水 塩素系薬剤を使用し、浴槽水中の遊離残留塩素濃度を頻繁に測定して、規則で定める基準に適合させるとともに、当該測定結果は、測定の日から3年間保管する。	水俣市（指定管理者を含む）、源泉所有者
設備周辺	自主的	○消毒装置及びろ過器 機器の維持管理を適切に実施する。 ○集毛トラップ 必要に応じて清掃等を実施する。	水俣市（指定管理者を含む）、源泉所有者

(3) 今後の取組方策

湯の児・湯の鶴温泉において、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、各エリアの温泉関係者に対して、温泉に関する衛生面についての講習会等を実施し、衛生管理のさらなる意識向上を図る。

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 概要

湯の児・湯の鶴温泉は、最盛期には現在の倍以上の温泉旅館・公衆浴場があったが、現在では15軒にまで減少。しかし、旧来から残る湯治の文化や平成31年に供用開始となった南九州西回り自動車道の水俣インターチェンジの効果もあり、今も根強いファンが都市部から訪れている。

また、水俣市では、市内の主要観光施設である道の駅みなまたのリニューアルやマリンアクティビティの全日本大会等を誘致するなど、誘客施策にも注力しており、来水された観光客等に湯の児・湯の鶴温泉の特色ある魅力を積極的に発信し、温泉利用の増進を図っている。

(2) 温泉の公共的利用の状況

湯の児・湯の鶴温泉を構成する各施設における温泉の公共的利用の状況は次のとおり。

①直近3か年の年別利用者数

温泉地	区分	R1 (H31)	R2	R3
湯の児温泉	宿泊	35,255人	19,409人	18,695人
	日帰	41,771人	10,515人	26,680人
	計	77,026人	29,924人	45,375人
湯の鶴温泉	宿泊	7,202人	4,746人	4,390人
	日帰	2,139人	657人	690人
	計	9,341人	5,403人	5,080人
宿泊計		42,457人	24,155人	23,085人
日帰計		43,910人	11,172人	27,370人
合計		86,367人	35,327人	50,455人

②直近1年間（令和3年）の月別利用者数

温泉地	区分	1月	2月	3月	4月
湯の児温泉	宿泊	497人	264人	1,222人	1,365人
	日帰	2,181人	1,915人	2,388人	2,104人
	計	2,678人	2,215人	3,610人	3,469人
湯の鶴温泉	宿泊	331人	222人	297人	379人
	日帰	112人	20人	49人	99人
	計	433人	242人	346人	478人
	宿泊計	825人	486人	1,519人	1,744人
	日帰計	2,293人	1,935人	2,437人	2,203人
	合計	3,118人	2,421人	3,956人	3,947人
温泉地	区分	5月	6月	7月	8月
湯の児温泉	宿泊	987人	545人	2,649人	2,038人
	日帰	1,947人	1,783人	2,253人	2,134人
	計	2,934人	2,328人	4,902人	4,172人
湯の鶴温泉	宿泊	312人	258人	473人	325人
	日帰	137人	87人	43人	20人
	計	449人	345人	516人	345人
	宿泊計	1,299人	803人	3,122人	2,363人
	日帰計	2,084人	1,870人	2,296人	2,154人
	合計	3,383人	2,673人	5,418人	4,517人
温泉地	区分	9月	10月	11月	12月
湯の児温泉	宿泊	1,010人	2,227人	3,016人	2,875人
	日帰	1,970人	2,302人	2,671人	2,996人
	計	2,980人	4,529人	5,687人	5,871人
湯の鶴温泉	宿泊	297人	425人	511人	560人
	日帰	8人	55人	31人	29人
	計	305人	480人	542人	589人
	宿泊計	1,307人	2,652人	3,527人	3,435人
	日帰計	1,978人	2,357人	2,702人	3,025人
	合計	3,285人	5,009人	6,229人	6,460人

(3) 取組の現状

湯の児・湯の鶴温泉において、各地域で取り組んでいる温泉の公共的利用を推進する取り組みは以下のとおり。

温泉地	取組	実施主体
水俣市全域	宿泊助成事業や誘客イベント等の実施	熊本県、水俣市（指定管理者を含む）、地元団体
	湯の児・湯の鶴温泉及び観光スポットの紹介	熊本県、水俣市（指定管理者を含む）、地元団体、源泉所有者
	観光関連施設の維持管理	熊本県、水俣市（指定管理者を含む）、地元団体、自治会、源泉所有者
	サイクリングコース、周遊ルート、各種マップ等の作成	熊本県、水俣市、地元団体
湯の児温泉	集会所の設置、管理運営	水俣市、自治会
	マリンアクティビティの大会誘致、体験の実施	熊本県、水俣市、地元団体、地元事業者
	海の生き物観察会等の体験型学習の実施	熊本県、水俣市、地元団体、地元事業者
	公衆浴場の運営	地元事業者
	イルミネーションの設置	地元団体、自治会
湯の鶴温泉	集会所の設置、管理運営	水俣市、自治会
	湯出七滝、矢筈岳等でのアクティビティ（トレッキング等）の実施	地元団体、地元事業者
	公衆浴場の運営	水俣市（指定管理者を含む）、地元事業者
	地域特産品等の販売	水俣市（指定管理者を含む）、自治会、地元事業者
	イルミネーションの設置	関係団体、自治会

(4) 今後の取組方針

上記(3)に加えて、今後は市街地から温泉街に周遊する仕組みを創造するとともに、それぞれの温泉施設で入浴によって得られる効果・効能を分かりやすく表示し、また、健康づくりを推進するために遊歩道の補修等を行うなど、魅力ある保養休憩地として公共的利用の増進を図る。

温泉地	取組	実施主体
水俣市全域	道の駅みなまたりリニューアルに併せた情報発信機能の強化により湯の児・湯の鶴温泉街への周遊促進	熊本県、水俣市(指定管理者を含む)、地元団体、地元事業者
	入浴の効果・効能を分かりやすく周知	水俣市、地元団体、源泉所有者
	湯出七滝遊歩道等の補修	水俣市、地元団体、自治会
	地域特産品や運動と温泉の相乗効果を題材とした体験型観光商品の開発	水俣市、地元団体
	湯の児・湯の鶴の両温泉地が相互に連動した取組の推進	水俣市、地元関係団体

8. 高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

湯の児・湯の鶴温泉における公共の用に供する主な施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
湯の児温泉	公共施設	道路 県道(56号線)、市道(23・28・30号線) 公園 湯の児島公園(大迫要迫1208) 湯之児公園(浜字上外平4100-5) 西湯ノ児緑地公園(浜字外平4083-1-1) 浮棧橋 湯の児観光浮棧橋
	私有施設	旅館6施設 公衆浴場3施設
湯の鶴温泉	公共施設	道路 県道(117・118号線)、市道(140・207・208・209・210・211号線) 公園 湯の鶴運動公園(湯出字沖無田1538-3、1533-1、1534、1536-8) 公衆浴場 湯の鶴温泉保健センター

		施設 湯の鶴温泉憩いの広場（足湯） 物産館 湯の鶴観光物産館「鶴の屋」 橋梁 ほたる橋
	私有施設	旅館 4 施設 公衆浴場 1 施設

（２）取組の現状

誰もが住みやすいまちづくりに向けて、日常生活や外出、社会参加の妨げになる様々なバリアを取り除く、バリアフリーの推進が求められている。

水俣市では、各種法令や計画に基づき、公共施設や道路等のバリアフリー化の計画的な整備を推進している。

さらに、ハード面におけるバリアフリー化の推進と併せて、加齢や障がい等に対する理解を深め、困った人を見かけた際の声がけや配慮により社会的バリアを除去する「心のバリアフリー」の促進に取り組んでいく。

また、地域との連携・協力を得ながら、避難支援体制を構築し、避難所においても心身の状態に応じた配慮やきめ細かな対応ができるよう、避難所運営の体制づくりに努める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
湯の児温泉	公共施設	道路	現状は特になし。	熊本県・水俣市
		公園	障がい者用トイレ、専用駐車場	水俣市
		浮棧橋	現状は特になし。	水俣市
	私有施設	建築物（旅館等）	スロープ、車椅子設置、障がい者用トイレ、浴槽手摺 他	各施設
湯の鶴温泉	公共施設	道路	現状は特になし。	熊本県・水俣市
		公園	障がい者用トイレ	水俣市
		公衆浴場	スロープ、障がい者用トイレ、1F 段差なし	水俣市
		物産館	障がい者用トイレ、1F 段差なし	水俣市
	私有施設	建築物（旅館等）	スロープ、障がい者用トイレ、浴槽手摺 他	各施設

（３）今後の取組の方策

公共施設の新築又は改修時においてバリアフリー化に関する確認を行い、ハード面からのバリアフリー化の充実を図っていく。

そして、水俣市における高齢者・障がい者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造の基準に関する条例に基づき、歩道の段差や勾配など通行に支障となっている箇所の改良及び視覚障がい者誘導ブロックが必要な個所への整備等を行う。

また、災害時に自力で避難できない又は他の支援者の支援が必要である障がい者を「避難行動要支援者」として名簿を作成し、名簿情報を活用して避難行動要支援者の支援体制を構築するとともに、災害時の避難・救助体制等の充実を図る。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
湯の児温泉	公共施設	道路	上記（２）で不足する箇所について、手すりの設置や段差解消など、全ての利用者が利用しやすい施設の整備を目指す。	熊本県・水俣市
		公園		水俣市
		浮棧橋		
	私有施設	建築物（旅館等）	上記（２）のみ実施の施設及び不足する箇所については、その整備について事業者自らが取り組むよう要請する。	各施設
湯の鶴温泉	公共施設	道路	上記（２）で不足する箇所について、手すりの設置や浴槽内の段差解消など、全ての利用者が利用しやすい施設の整備を目指す。	熊本県・水俣市
		公園		水俣市
		公衆浴場		
		物産館		
	私有施設	建築物（旅館等）	上記（２）のみ実施の施設及び不足する箇所については、その整備について事業者自らが取り組むよう要請する。	各施設

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

（１）温泉地の地勢及び災害の発生状況

湯の児温泉は、八代海に面した水俣市北西部に位置し、その海岸沿いには温泉旅館等が立ち並んでいるが、海に向かうとその背にあたる区域のほとんどが急傾斜地であり、土砂災害防止法による土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域に設定されている。

これまでに大きな人的被害はないものの、大雨による斜面の崩れ等が頻繁に発生しているほか、平成5年には、台風13号による強風で温泉地内のホテルの屋根が飛ばされるという被害があり、また、令和2年7月豪雨災害では、温泉地にある商店付近が、大雨の出水により床下浸水等の被害が発生している。

湯の鶴温泉は、水俣市南東部の山間に位置し、湯出川沿いに温泉旅館等が立ち並ぶが、それをとり囲むように急傾斜地が存在し、土砂災害防止法による土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域などが設定されている。

湯の鶴温泉においても、近年、人的被害を伴う大きな災害が発生した記録はなく、地域住民への聞き取りにおいても、大きな災害は確認されなかった。

しかし、湯の鶴温泉の上流にある招川内地区においては、昭和34年7月9日、豪雨による水害が発生し、死者6名、床上浸水33戸、住家流出1戸の被害が記録されているほか、湯の鶴温泉から約2km下流にある深川新屋敷地区においては、平成15年7月20日、豪雨による土石流災害が発生し、死者4名、重傷者1名、住家全壊4棟の被害が記録されている。

(2) 計画及び措置の現状

湯の児温泉、湯の鶴温泉の双方を対象を含む災害防止対策に係る計画及び措置等については、以下の通り。

計画又は措置	計画又は措置の概要
水俣市地域防災計画 (水俣市全域)	災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 42 条の規定に基づき、水俣市における防災体制を確立するとともに、災害の予防、災害応急対策及び災害復旧の万全を図り、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とし策定している。
山地災害危険地区の設定	林野庁の「山地災害危険地区調査要領」を基に、地質や地形から地区を設定し、地域住民への周知を推進している。 湯の鶴温泉の区域内において、3 箇所が設定されている。
土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域の指定	各法律等に基づき、災害等が発生した場合に、建築物が損壊し、住民等の生命又は身体に著しい被害が生じる恐れがあると認められる区域として、一定の開発行為を制限し、建築物の構造の制限に関する所要の措置を定めるほか、避難に資する情報を提供すること等により、災害の防止のための対策を図るもの。 湯の児温泉の区域内については、土砂災害特別警戒区域 11 箇所、土砂災害警戒区域 13 箇所、湯の鶴温泉の区域内においては土砂災害特別警戒区域 7 箇所、土砂災害警戒区域 9 箇所が指定されており、「水俣市防災ハザードマップ」等を作成し、市内全世帯に配布することで、周知を行っている。
指定緊急避難場所・指定避難所の指定	湯の児、湯の鶴の両温泉地においては、下記のとおり、指定緊急避難場所・指定避難所（地域管理）を指定している。 【湯の児温泉】 ◇湯の児海と夕やけ（指定緊急避難場所） 【湯の鶴温泉】 ◇湯の鶴温泉保健センター（指定緊急避難場所・指定避難所） ◇旧湯出中学校（指定緊急避難場所・指定避難所）
水俣市消防団	水俣市消防団については、市内全域に、7 個分団、24 個部で組織されており、湯の児、湯の鶴の両温泉地については、下記の消防団が担当し、火災、風水害、地震等の災害に、直ちに対応できるよう備えている。 【湯の児温泉】 担当消防団 第 2 分団第 21 部 団員数 16 名（令和 3 年 7 月現在） 配備車両 小型動力ポンプ付積載車 1 台 格納庫所在 水俣市浜字上外平 4100-3

	<p>【湯の鶴温泉】 担当消防団 第5分団第15部 団員数 21名（令和3年7月現在） 配備車両 消防ポンプ自動車 1台 格納庫所在 水俣市長崎字木折 60-1</p>
自主防災組織の設置	<p>平成17年度に、市内全域で26の自主防災組織を設立。 温泉地に係る地域についても、下記のとおり設立され、地域防災力の向上を目指す。</p> <p>【湯の児温泉】 22区自治会・防災部会</p> <p>【湯の鶴温泉】 第15区自主防災組織</p>
防災行政無線の整備	<p>防災行政無線については、市内全域を対象に、平成6年度から7年度にかけて整備し、平成8年度から運用を開始した。その後、無線電波のデジタル化等に伴い、平成29年度にかけて更新を行った。 温泉地に係る、拡声子局等の整備状況については下記のとおり。</p> <p>1 拡声子局の設置場所</p> <p>【湯の児温泉】 △湯の児局（浜上外平 4100-5）※湯の児公園 △湯の児2局（大迫要迫 1196-2）※湯の児海水浴場</p> <p>【湯の鶴温泉】 △下村局（湯出樋ノ口 1641）※湯出小学校 △湯出局（湯出沖無田 1541-15）※湯の鶴温泉保健センター</p> <p>2 戸別受信機の配布 防災行政無線の戸別受信機については、市内全域を対象に、要望のあった一般世帯等に配布を行っている。 湯の児、湯の鶴温泉においても、要望のあった、一般世帯及び各温泉施設等に配布を行っている。</p>
水位及び雨量の観測場所の設定	<p>気象情報等の収集のため、湯の鶴温泉に、下記のとおり、水位及び雨量の観測場所を設定している。</p> <p>【湯の鶴温泉】 河川水位観測：湯出川左岸（あさひ荘）※目視による 雨量観測：湯の鶴温泉保健センター</p>

(3) 今後の取組方策

湯の児、湯の鶴両温泉地での災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え以下の取組を進める。

今後の主な取組み	概要
地区防災計画の策定推進	<p>地域における自発的な防災活動のため、市内全地区を対象に、地区防災計画の策定を推進する。</p> <p>湯の児、湯の鶴の両温泉地においては、下記の自治会が主体となり、計画の策定を推進する。</p> <p>策定後は市防災会議に提案し、市と連携して防災活動を行う。</p> <p>【湯の鶴温泉】 15区自治会 【湯の児温泉】 22区自治会</p>
水俣市消防団による各種訓練の実施	<p>水俣市消防団により、年間を通じて、規律訓練、火災防御訓練、新入団員訓練、機関員訓練、火災警戒活動等を実施。</p> <p>また、市総合防災訓練（土嚢積み訓練、チェーンソー訓練等）への参加。</p>
地区の自治会・自主防災組織の防災意識の向上及び防災訓練等の実施	<p>地区自主防災組織に対する研修等の実施、地区住民を対象にした防災訓練の実施並びに、市総合防災訓練へ参加。</p>
各温泉旅館等による消防訓練の実施	<p>湯の鶴、湯の児温泉の各旅館等において、消防法に基づき義務付けられている、消防訓練を実施する。</p>

添 付

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

国民保養温泉地位置図

1:100,000



0 1,300 2,600 5,200 メートル

国民保養温泉地域図 湯の児温泉



1:5,000



① ● 斎藤旅館

② ● 昇陽館

⑦ ● 白梅 湯裸楽

⑧ ● 中村温泉

⑨ ● 旧福田農場
共同浴場

⑤ ● 夕日の宿

④ ● 湯の児 海と夕やけ

⑩ ● 温泉いわさき

⑥ ● 旅館 松原荘

大迫

浜

桜ヶ丘

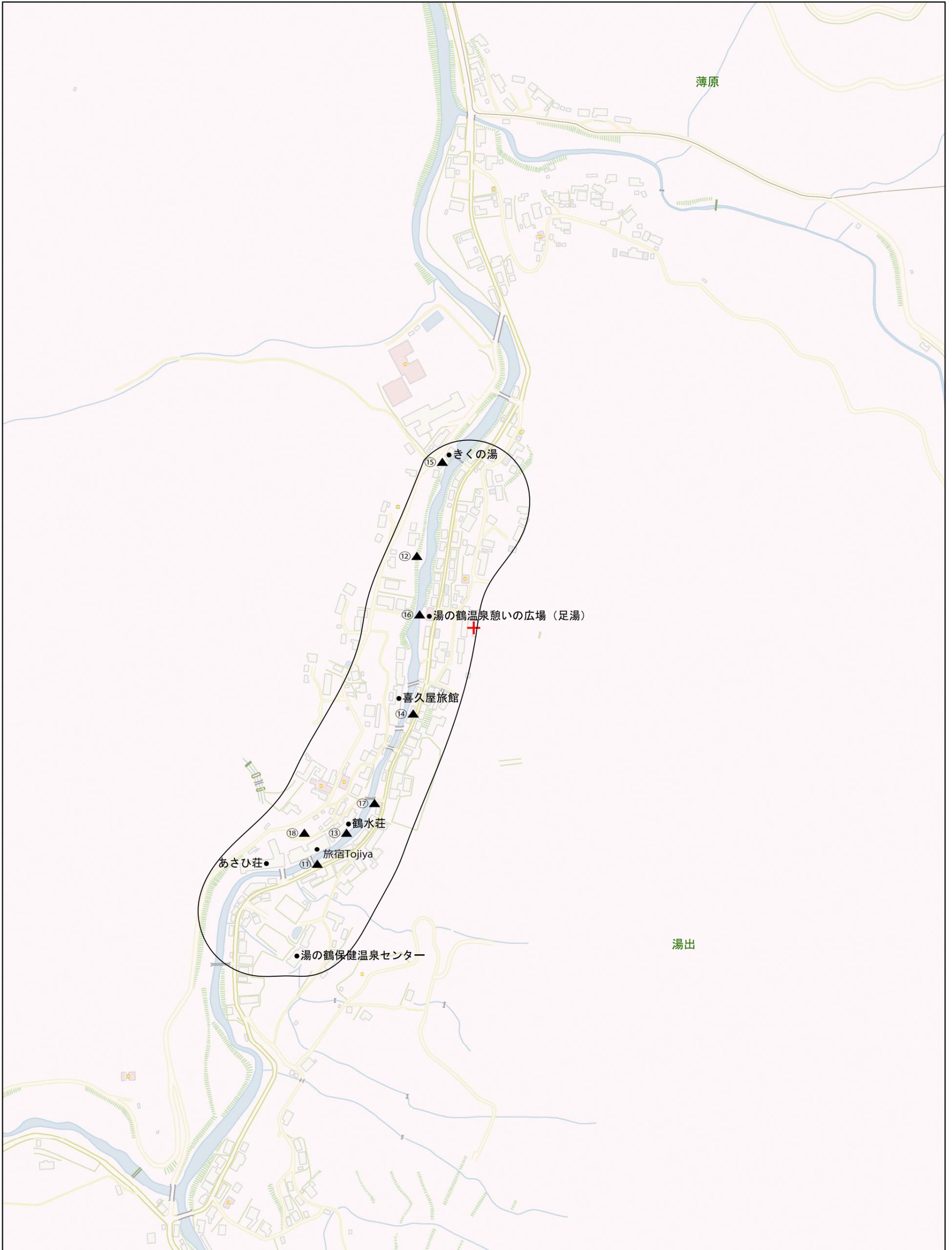
陳内

牧ノ内

0 65 130 260 メートル

国民保養温泉地域図 湯の鶴温泉

1:4,000



0 50 100 200メートル

